

9月定例記者会見要旨

今月の定例記者会見を始めさせていただきます。

8月の後半から、立て続けに台風が日本列島を襲いました。観測史上初の東北地方へ太平洋岸からの上陸となった台風10号や、先日、鹿児島に上陸し本州の広い地域を襲った台風16号で、今シーズンの台風の上陸数が6個となり、1951年の統計開始以来、年間上陸数で1990年、1993年と並んで、観測史上2番目に多い上陸数になったと気象庁が発表しました。

台風シーズンであるこの季節は、運動会をはじめ、スポーツの秋や実りの秋など、この季節にちなんだ、様々なイベントが市内各地で、開催される時期でもございます。

龍ヶ崎市に勤務されている酒井気象予報士の任期も、9月30日（金）までとなりました。特に台風の発生が多い今シーズンとなりましたが、その間避難勧告を1回、避難準備情報を1回出しましたが、酒井気象予報士からは非常に貴重なご指導をいただきました。逆に過剰な警戒を避けることができた、適切にご指導をいただき、気象予報士の専門的な見地の高さ、自治体としてのそれらの情報の大切さを痛感させていただく貴重な機会となりました。今後も引き続き今回の派遣事業による絆を大切に、市民生活の安全・安心の確保を最優先に、市民の皆様に適切な情報提供を行いながら、引き続き防災業務に努めてまいります。

次に、9月18日（月）、フランスのパリにおきまして、スポーツクライミングの世界選手権が開催され、ボルダリング女子の決勝に、本市出身であり、本市のふるさと大使も務めていただいております野口啓代選手が出場し、3位というすばらしい成績を修められました。

先日リオオリンピックの期間中に、ボルダリングを含むフリークライミングが、4年後の東京オリンピックの正式競技になることが決定しました。世界選手権で4度の年間王者に輝いている彼女にとって、3位という順位は残念な結果かもしれませんが、この経験を、今後の活動に活かし、野口選手の目標の一つでもある2020年の東京オリンピックでの大活躍を、市民と共に心よりご祈念申し上げます。

ブラジルのリオデジャネイロで開催されておりましたパラリンピックが、9月19日（月）に12日間にわたる熱戦の幕を閉じました。

日本のメダル獲得数は、前会のロンドン大会の16個を上回る24個と日本選手団の活躍に私達は、大きな喜びと深い感動をいただきました。

この日本選手団の大きな成果と応援した我々の喜びや感動を、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへと繋げて行っていただくことを期待しています。

市政におきましても、現在、開会中であり第3回市議会定例会が本日、9月23日（金）に最終日を迎え、本定例会にご提案いたしました議案23件、報告7件につきまして、ご決定をいただきます。

本定例会では、東京オリンピックやラグビーワールドカップに向けて「国際スポーツ大会キャンプ等招致アドバイザー」を設置し、本市でも、国際スポーツ大会などのキャンプ地の誘致に積極的に取り組んでいくため、アドバイザーに係る経費なども補正予算等に提案しています。

議会の皆様のご決定を踏まえまして、オリンピックやパラリンピックの喜びや感動を本市においても、市民の皆様とともに享受できるよう、2020年に向けたまちづくりを、力強く進めてまいります。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに商工観光課から10月2日（日）に開催いたします「第4回全国コロッケフェスティバル in 龍ヶ崎」についての情報でございます。

平成25年に市政施行60周年記念事業として、「第1回全国コロッケフェスティバル」を本市で開催し、同じ「コロッケでまちおこし」に取り組んでいる静岡県三島市、富山県高岡市での開催を経て、3年ぶりに本市の本町商店街通り及びにぎわい広場で開催いたします。

北は北海道、南は九州から「ご当地コロッケ」35店が参加して、投票によりコロッケ日本一を決定いたします。

ステージイベントでは、コロッケ早食い選手権や愛宕中学校吹奏楽部による演奏、本市出身のアーティストのライブなどがございます。

また、恒例のまいんバザールと同時開催となっておりますので、観光物産協会物産部会や商工会加盟店など約40店のアンテナショップも、ぜひ、ご利用いただければと思っています。

当日はコミュニティバス全ルートの運賃を終日無料とし、また、9月6日から運行を開始しております、関東鉄道竜ヶ崎線の気動車2台の車内の全てのつり革に本物そっくりのレプリカコロッケを設置するとともに、コロッケが気になるフレーズを配置したステッカーを設置してありますので、ぜひ多くの皆様にご利用いただいて、「コロッケのまち龍ヶ崎」ならではの、ビッグイベントをお楽しみいただきたいと思います。

続きまして、市民協働課からの情報提供でございます。

10月22日（土）午前10時に、市民の皆さんが集い、活動し、交流を深める新たな施設として、「龍ヶ崎市市民交流プラザ」をオープンいたします。

この施設は、龍ヶ崎市民農園のとなりにある既存の施設を、あらゆる年代の方が利用しやすいよう改修を行い、新たな施設として有効利用するものがございます。

市民交流プラザは、市民団体の皆さんが活動する新たな場の提供として、施設の貸し出しを行ってまいります。また、子育て世代の皆様のご利用を促

進するため、来館のきっかけづくりとして、親子が楽しめるようなイベント等も実施してまいります。

当日は、オープンセレモニー、ミニコンサート、親子で楽しめる工作のワークショップ等のオープニングイベントや、市民交流プラザの看板デザインを手掛けていただいた、アーティストの「小中大地（こなかだいち）」氏の作品展も開催する予定です。

ぜひ、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

続きまして、社会福祉協議会から10月16日（日）に開催いたします「ふれ愛広場」についての情報提供でございます。

このイベントは、文化と福祉を融合させ、遊びながら福祉への理解を深める市民参加による手作りのイベントとして、本年度、31回目を迎える事業でもございます。

今回は、障がい者ニュースポーツでは、パラリンピックにて銀メダルになった、今話題の「ボッチャ」の競技体験を開催するとともに、模擬店や縁日コーナーの出店、芸能ボランティアによるタイムイベントなど、多数の催しを開催してまいります。

そして、イベントの最後には、多数の豪華景品があたる大抽選会も予定していますので、ぜひ、ご家族、お友達をお誘いの上、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。